

「長久手市スポーツ施設整備等基本構想（案）」についてのパブリックコメントの実施結果

- 1 意見募集案件名
長久手市スポーツ施設整備等基本構想（案）
- 2 募集期間
平成29年2月7日（火）から3月8日（水）まで
- 3 閲覧場所
生涯学習課（杵ヶ池体育館）窓口、市ホームページ、市役所西庁舎1階情報コーナー
- 4 募集結果
3名 14件
- 5 提出された意見及び意見に対する市の考え方
以下の表のとおり

番号	意見	市の考え
1	<p>プール必須 送迎をする （メタボ、高齢者など焦点を絞り、その対象者を外に連れ出し、運動の機会を与える） 健康診断×体力測定のできる環境を整える 立派な音響（音楽と運動はセット） ランナー、ライダー（自転車）が立ち寄りたくなる場所にする（例えば、ちょっと足湯、パフォーマンスをあげるための栄養補給ができる、心肺能力を測れる機械、ここに行けば仲間に会える） スタジオ</p>	<p>15ページにありますとおり、施設の機能的なことについては、「スポーツターミナルに求められる機能」、「スポーツターミナルに必要な施設、求められる新たな機能」を考えております。</p> <p>施設利用者の送迎、音響、立ち寄りたくなる場所についてのご意見は、施設の魅力となる付加価値がある機能として、今後の施設整備の計画等を作る際に参考とさせていただきます。</p> <p>プールの設置は、今のところ検討していませんが、健康増進に寄与するもので、施設の魅力となる付加価値がある機能として、今後の施設整備の計画等を作る際に参考とさせていただきます。</p>
2	<p>第4章1項の中で「市の第5次総合計画では・・・(中略)・・・グラウンドの将来的な整備の方向については、既存の施設（長久手スポーツの杜）への集約・拡充を検討していることから・・・」とあるが、長久手市HPで公開されている第5次総合計画にそのような記述が見つけられなかった。</p>	<p>2ページにあります、「第5次総合計画」についての説明をご参照ください。</p> <p>なお、市の第5次総合計画本編の28ページに記載がございますので、ご参照ください。</p>

3	<p>第4章第1項の「スポーツターミナル」の定義は、「長久手市第5次総合計画」の「ながくてアクティブ構想」にあるように、健康づくりセンターの機能と多目的スポーツ機能を併せ持つものとするべきではないか。その場合、本基本構想をもう一度検討する必要があるのではないか。</p>	<p>第5次総合計画の整備イメージを基に、本構想では、多目的スポーツ機能を備えた総合体育館とグラウンドのイメージを具現化するために、13ページにおいて、グラウンドは長久手スポーツの杜を集約・拡充することとし、総合体育館はスポーツターミナルに整備することとしています。そのため、13ページに記載の「長久手市らしい健康づくりセンターの機能を備えた総合体育館」の「総合体育館」は多目的スポーツ機能も兼ね備えた施設と考えています。</p>
4	<p>第4章第7項の中に「いずれの条件も満たす立地・・・(中略)市役所周辺での整備が考えられます。」とある。それに続いて「諸条件に加え、・・・(中略)・・・立地について詳細な検討をしていく必要があります。」とある。基本構想の段階で具体的な場所の候補を記述するのは、今後の流れを誘導するようで違和感がある。削除すべきではないか。</p>	<p>現在は、基本構想の段階であり、今後、具体的な計画等を作っていく際に、構想で定めた諸条件に合う候補地の選定を引き続き継続して行います。現時点において、これらの諸条件を満たすものとして、市役所周辺を候補地として整理しています。</p>
5	<p>P2フラッグ2 情報氾濫の昨今、グループB、C (P10) の多くは情報に惑わされている。スポーツターミナルの〇〇情報室で聞けば正確な答えが得られるという安心の拠点となることが必要。</p>	<p>14ページにあります、「2 スポーツターミナルと既存施設を活用した健康づくり、(1) スポーツのつながり、②ソフトのつながり」に記載のとおりです。</p>
6	<p>P3 3地域特性は、若い、学生、勤労者が多い、老人が少ない、これから老人が多くなるということは、特に若い人に運動の意識をもってもらい、将来セルフケアができるようになってもらいたい。 地域に根付くとは、ここに住んでいけば家族全員一生運動、健康には苦労しないと思える流れができること</p>	<p>11ページにあります、「長久手市のスポーツ推進の基本的な考え方」の4つの柱の1つである「柱1 スポーツを健康長寿の原動力にする」に関係することであり、12ページにその内容を表記しています。</p>

7	<p>P4 昼夜人口、流出入人口 平日昼間は大略3万人/5.7万人が就・学生、この人々を運動に引き込まないと全体のスポーツ気運は上がらない。</p> <p>就業者：各企業店舗で全員参加を目標としたスポーツを考えてもらう。→企業チーム創設に結び付けたい。：昼間12時～13時に優先的に施設利用できるよう配慮したい。学生：スポーツ関連学部の単位に実地実習を必須とし市民運動に関わってもらおう。(薬学では6年制になってから病院、薬局実習期間が長くなり、しっかり単位に反映されている。) 平日昼間大略2.7万人/5.7万人が学童、主婦、無職、老人、障害無職、幼、保、小、中、高生は学校単位で運動、栄養への取り組みを策定、市へ報告してもらう。</p>	<p>11ページにあります、「長久手市のスポーツ推進の基本的な考え方」の4つの柱の中にある「柱2 スポーツを地域活性化の推進力にする」「柱4 スポーツを楽しむ・親しむ・触れる」に関係することであり、12ページにその内容を表記しています。今後策定を予定しているスポーツ推進計画を作っていく際に参考とさせていただきます。</p>
8	<p>P8 (3) ①健康を害しそうな人を見つける。市の健康診断時。過去に受けた血液検査、他所の健康診断、人間ドッグ結果、運動結果等のデータを持参してもらい、全てを見てしっかり読み解き、個人指導、希望者には有料で(100～500円位?)でデータとしてカルテを作成し各回フォロー、(ソフトを大学などで開発してもらいたい)、グループB、Cでも多くの方は検診を受けていると想像します。一同、一同個別にその時のデータを説明しても有効性は少なく、継時変化から個体の変調を見ていくことが重要で本人も納得し、自分で考え、これからの計画を立てられるようになる。頼まれて何人かで実行したことがあります。また自分でもこれで体調管理しています。</p>	<p>14ページにあります、「2 スポーツターミナルと既存施設を活用した健康づくり、(2) 介護予防・健康づくりのつながり、①医療機関との連携」に記載のとおりです。方法等についての詳細は、具体的な計画等を作っていく際に考えていく予定であり、その際に参考とさせていただきます。</p>

9	<p>P9 (4) ①ウォーキングコース。 コースを作ってもただ歩くだけでは維持はできても増進にはならないことを理解していない人が多い。運動能力を検証後、コースに試歩、試走用に区切った50とか100mの区間を、貸出ストップウォッチで何秒で歩くのがベストか実体験してもらい、その速度を体得し、その後のウォーキングに役立ててもらおう。(どこかの市の取り組みをTVで見た)</p>	<p>現在は、基本構想の段階であり、今後、具体的な計画等を作っていく際に参考とさせていただきます。</p>
10	<p>P10②飲食施設 スポーツと栄養はきっても切り離せないもの。栄養素などの氾濫情報にのり、体調を壊す人もいる。スポーツ栄養の専門家かスポーツ栄養士の元にやるべき。</p>	<p>15ページにあります、「スポーツターミナルに求められる機能」において、施設の魅力となる付加価値がある機能を加える中で、「飲食施設」に関するご意見として、今後の施設整備の計画等を作る際に参考とさせていただきます。</p>
11	<p>P11 柱3、4 プロスポーツ選手排出も大切、若年者、若者が対象、(高齢者でもあるが)施設の優先利用があってもよいのではないか。</p>	<p>現在は、基本構想の段階であり、施設の具体的な運用方針等に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
12	<p>P13 (2) ボランティアで経費節減とその人の人生の充実に結びつけたい。(自分でやりたい)</p>	
13	<p>P14 2施設に来てもらうには、Nバスのルート改良。いろいろな企画、イベント、教室講座の開設曜日を固定化せず、周期で動かし参加チャンスを増やす。(講師確保が難しいかもしれません)</p>	<p>スポーツターミナルについては、16ページ「7 利用しやすさと「立地」」のとおり市民の利便性に配慮してまいります。企画等については、14ページ「2 スポーツターミナルと既存施設を活用した健康づくり、(1) スポーツのつながり、② ソフトのつながり」に記載のとおりです。具体的な施設の運用等に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
14	<p>P15 (4) 長久手市には障害者スポーツセンターがないと思うが、ターミナルのアリーナを床材、寸法等機能面で健常者用と共用可能な施設にできないですか。</p>	<p>15ページにあります「4 スポーツターミナルに必要な施設、求められる新たな機能、(4) ユニバーサルデザインの導入」に記載のとおりです。</p>